

## 病院薬剤師の資質向上を図るために 継続的な学びを！

日本病院薬剤師会理事  
山形大学医学部附属病院教授・薬剤部長  
山口 浩明 Hiroaki YAMAGUCHI



日本病院薬剤師会（以下、日病薬）病院薬学認定薬剤師制度（以下、本制度）において、平成30年に初めての認定者を輩出してからあっという間に6年が経過しました。これまでの認定者数は、1万4千人を超え、会員の約30%が病院薬学認定薬剤師として活躍されております。認定後に各種専門・認定薬剤師の資格取得へチャレンジし、ステップアップされた会員も多いのではないのでしょうか。研修の機会が一時的に減少したコロナ禍においても、WEB研修会を積極にご参加いただくなどの継続した研鑽を重ねていただき、コツコツと研修単位シールを集めて管理いただいていると思います。WEBを用いた研修会が本制度の正式な研修形式となり、離島で勤務されている会員等を含む、研修会場に物理的に足を運ぶことができない会員にとっては、オンラインでの配信・受講環境が整ったことによるメリットが大きいこともわかりました。一方で、会員が研修単位シールの受領までに時間を要すること、研修単位シール送付に要する本制度の研修会実施機関の人的、経済的な負担が大きいこともありまして、認定単位の電子化の強い要望を受けておりました。この要望に対し日病薬では令和4年度に認定制度システム化検討特別委員会を立ち上げ、令和6年4月に会員管理システムと連携した単位管理、認定申請までできるシステム（日病薬病院薬学認定薬剤師研修支援システム）をリリースすべく、急ピッチで作業を進めております。すなわち、来年度から研修単位シールを廃止し、システム上での単位管理が可能となります。システムの利用については、会員管理システムへの登録が必須となりますのでご注意ください。年が明けましたら、研修支援に関する説明の機会を予定しています。利用するすべての方々に利便性を感じていただけるようなシステムを提供できるように進めておりますのでどうぞご期待ください。

さて、会員施設におかれましては病院薬剤師の確保に難渋し、十分な病棟活動が実施できていなかったり、新たな業務が展開できずにご苦労されている施設も多いことと思いますが、高度化・複雑化する薬物療法において、我々病院薬剤師の果たすべき役割はますます幅が広がっています。そのためにも継続して学び、資質向上を図っていくことは、薬剤師をとりまく様々な環境変化に対応し、職能を最大限に発揮するために重要と言えます。引き続き、多くの会員に本制度を積極にご活用いただきたいと考えております。認定期間を6年間としている本制度は、来年度に初めての更新審査が行われます。来年度に更新を迎える会員におかれましては、お早めに日病薬病院薬学認定薬剤師の更新申請のご準備をしていただければ幸いです。